



今回は、SGH活動に関連した図書館の取り組みの紹介です。

◇SGH講演会講師の著書紹介コーナー

6月20日、沼津港深海水族館の石垣幸二館長が来校、図書館便りで紹介し、図書館で展示しました。

『世界に一つだけの深海水族館』

他には例のない、深海水族館を魅せるための工夫とは！？この本は現在、桜ヶ丘会館入り口付近にて展示中です。図書委員がイチオシの生き物やページに付箋をつけていますので、ぜひチェックしてみてくださいね。ちなみに“飼育員の飼育日記”は、水族館の裏側をのぞいているようで、読んでいて楽しかったですよ。



『「水族館」革命—世界初！深海水族館の作り方』

石垣館長が取り組んだ深海水族館の展示について、また、理想の水族館づくりについて書かれています。水族館の見方が変わるかも！？

1月30日、税所篤快さんが来校。図書館にコーナーを設けたところ、すべて貸し出しとなりました。

e - Educationの税所篤快さん、3年連続の来校。生徒に熱心に講演をしてくださいました。講演会やパネルディスカッションに向けて、多くの生徒が税所さんの本を借りていました。税所さんの著書は以下の通り。



『「最高の授業」を世界に届けよう』

『前へ！前へ！前へ！』

『突破力と無力』

『若者が社会を動かすために』

◇SGH課題研究の取り組みで本紹介コーナーを設置

2年3組LGBT研究班

自分たちが読んだ本の紹介をポップに書いて図書館に展示。多くの生徒が興味を持ってくれました。関市のフレンドリー宣言に賛同し、休みに関市の啓発用パンフレットを配付したほか、市長さんとの懇談会もおこないました。



◇ 図書館で本紹介イベントを行いました。

6月15日、図書館で本紹介イベント「^{ぶく}Book ^{ぶく}Book Chatting」が開催。このイベントでは、昼休みに生徒がおすすめの本を5分ほど紹介してくれます。今回は、教員志望、保育士志望、もしくは心理系の分野を目指す人向けに、発達心理・子どもに関する本を紹介してくれました。初めての試みでもあり、3人の生徒は、とても緊張しながらも、しっかりと語ってくれました。



一生懸命紹介しています。

紹介された本

『子供の「脳」は肌にある』

山口 創【著】 光文社新書

『子どもの世界をどうみるか—行為とその意味』

津守 真【著】 NHK出版

『友達をつくれないうつくれる子』

児童心理 2000年2月臨時増刊』

金子書房

紹介された本について、イベント後に話ができるのも楽しい要素です。



本を紹介してくれたメンバー